

神話伝説の山里

たがちほごう

「高千穂郷」通信

257

令和7年2月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



「日之影町コミュニティセンター」オープン！

1月17日（金）、旧日之影町役場庁舎跡地にあった日之影町中央研修館が「日之影町コミュニティセンター」として生まれ変わったことを記念し、落成式典が行われました。

同センターは、県産材をふんだんに利用した2階建ての建物で、1階には屋根付きの休憩スペースである東屋テラスやバス待合所兼観光案内所、2階には様々な活動の拠点として活用できる地域交流スペースや景色を楽しみながらリモートワークができるワークテラスなどが設けられており、各階には企業向けの貸しテナントも用意されています。

また、旧商工会館にあった「竹細工資料館」も同センターに移設され、敷地内には遊具つきの芝生公園も整備されており、町内外から人が訪れ、地域活性化の拠点施設としての役割が期待されています。



リニューアル式典

全国優良経営体販売革新部門

祝 農林水産大臣賞受賞！

株式会社 宮崎茶房 の お茶づくり

その **秘密** に
迫りました！



株式会社 宮崎茶房

代表取締役社長

みやざき あきら

宮崎 亮 さん

五ヶ瀬町出身。平成3年に就農、平成19年から現職。「飲んだら元気になるお茶づくり」を経営理念に掲げ、

釜炒り茶、烏龍茶、紅茶の生産、販売に取り組み、日本茶AWARDや全国茶品評会において多数の入賞実績を誇る。



西臼杵農業改良普及センター

たかしま かずひこ

主幹 高嶋 和彦

平成7年に入庁し、県総合農試茶業支場や農業改良普及センターで茶の研究や普及業務に従事。西臼杵農業改良普及センターでの勤務は2回目、令和4年から現職。宮崎社長とは、技術員と生産者の関係で20年以上の交流がある。



インタビュアー

西臼杵農業改良普及センター

たかはし ななみ

主事 高橋 七海

平成31年に入庁し、令和4年から西臼杵農業改良普及センター。高千穂郷通信の編集員として、いろいろな取材を通して西臼杵支庁の業務やトピックスを発信。今回の対談を企画し、宮崎茶房の秘密に迫る。

受賞した理由

—— 今回、全国優良経営体販売革新部門で農林水産大臣賞を受賞されましたが、どのような点が評価されたのでしょうか。

高嶋 主幹 大きく2つありまして、1つ目は、宮崎茶房さんはこだわりのある商品づくりに努めながら消費者との交流を重視したマーケティング活動を展開してきたこと、2つ目は、国産烏龍茶の取組を先駆的に行い市場を開拓してきたことです。

—— 具体的にどのような取組をされてきたのですか。

宮崎 社長 自社の商品を用いた試飲会、茶園見学、そして隣接する施設での釜炒り茶、烏龍茶等の製茶体験など、消費者との交流に取り組んできました。それが、いつのまにか口コミとして広まり、今では、一般のお客さんだけでなく、茶の専門業者や小売店、外国人観光客など、年に約600名ほどにお越しいただいています。

高嶋 主幹 体験型の消費者交流というのは珍しいことではないのですが、宮崎茶房さんでは顧客が顧客を生む仕組みを構築されており、独創的なレベルに達している点が他者との違いですね。

宮崎 社長 烏龍茶に取り組むきっかけは、20年くらい前に遊び感覚で作った烏龍茶の出来が良かったことから始まりました。最初は宮崎茶房だけの取り組みでしたが、その後、他の生産者も取り組みはじめ、普及センターや試験場とも連携してきたことで大きく飛躍しましたね。

株式会社 宮崎茶房 ってどんなところ？

平成19年の法人化を契機に、茶園及び製茶工場に関する有機JAS認証を取得し、商品競争力強化に努めている。

自社オリジナル商品の開発・製造により、主力商品である釜炒り茶のほか、烏龍茶、紅茶など多様な商品を先駆的に開発し、市場開拓を図っている。

キャッチフレーズは「元気になるお茶づくり」。



今回の受賞をうけた知事表敬訪問

高嶋 主幹 昨年度、西臼杵地区烏龍茶研究会が宮崎日日新聞農業技術賞を受賞するなど、西臼杵は全国有数の烏龍茶産地として知られるようになりましたが、宮崎さんは烏龍茶の生産に先駆的に取り組み、他の生産者と協力しながら、地域のみならず全国もリードしてきており、その功績は大きいですね。

失敗を恐れず挑戦

—— これまで商品開発や体験型の消費者交流に取り組む中で、いろいろ大変なこともあったと思いますが、どのような思いで取り組んでこられたのでしょうか。

宮崎 社長 たくさん失敗はしているのですが、勉強になったことも多く、それは自分たちの財産になっていますね。今までいろんな開発とか試験場からのお願いがありましたが、すべて前向きに捉えようと思って取り組んできました。新しいことについては結構飛びつきます。すぐ飽きてほかの人に振るんですけど（笑）。

—— あと、宮崎茶房さんは、多数の品種茶や長期間熟成したほうじ茶など、普通の販売店では見かけないような商品がたくさんありますよね。商品開発に関しては、どのように考えていますか。

宮崎 社長 商品開発に関しては、経営を含めていろいろ考えていますね。“一番茶が高く二番茶が安い”とかじゃなくて、“二番茶も付加価値をつけて、どう販売しようか”と。市場評価が悪いと言われている品種も、その品種にしかできないこととかを探して、価値を見つけて伸ばしていくという考えは根本にありますね。

女性視点での商品開発

—— 私から見て、宮崎茶房の商品は何か女性向きというか優しい感じがします。

宮崎 社長 お茶の最終消費者はほぼ女性なんです。買い付けをするバイヤーは男性ばかりだから、こうじゃないといけないって言うんですけど、基本、買う人は女性なんで、女性目線のデザインとか、優しい感じの飲み心地とかはすごく意識して女性の力を生かしています。一方で、男性バイヤーにはすごく評判悪いんですけどね（笑）。でも、最終消費者の舌に合ったものを作っていくべきだと思います。

情報収集

高嶋 主幹 商品や製茶方法に関する情報に関しても、結構、オープンにしており、また、持っている情報量にもいつも驚かされます。

宮崎 社長 こちらの情報を受け取った人たちが、今度は私の知らない新しい情報を残して帰るんです。情報を出さなければ、情報をもらえないというのが昔からありますね。お金を使わないとお金が流れてこないって言われているように、情報も流さないと流れてこないというのは、信念としてあります。

—— 情報を流し過ぎて困ることはないんですか。自分だけのものにしておこうとか。

宮崎 社長 情報を隠すと新しい情報も入ってこないで、気にしないようにしています。これまで、茶の業界って情報を隠す文化が結構あったんですよ。自分は情報を共有しながらやっていった方がいいかなと思ってしていたら、地域の茶の生産者同士が情報を共有するようになり、経営にもプラスになったので、時代に合ってるいい流れなのかなと思ってます。

—— きっと、宮崎社長の粋にとらわれない考え方や向上心、そして何より消費者を想う気持ちが、宮崎茶房さんの取組に繋がっているんですね。



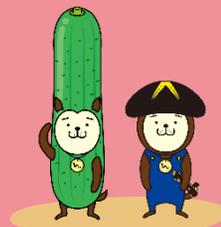


五ヶ瀬町 成松 達也さん が

第67回宮崎日日新聞農業技術者賞



受賞！



1月17日（金）、「第67回宮崎日日新聞農業技術者賞」の贈呈式が宮崎市で行われました。

この賞は、先駆的な取組で県の農業の発展や地域活性化に貢献した方に贈られるもので、今回、五ヶ瀬町で夏秋きゅうりと冬場のしいたけを組み合わせた複合経営に取り組み、高千穂地区野菜生産組合長やきゅうり部会長として、西臼杵地域の野菜産地確立に尽力されている成松 達也さんが、「複合経営部門」で受賞されました。

西臼杵地域の夏秋きゅうりは露地栽培が中心ですが、成松さんは、ハウス栽培と露地栽培を組み合わせで生産を安定化させ、ハウス内の土壌水分や温度などを数値化して、データに基づく栽培管理に取り組み、しいたけ栽培では、雨が少ない10月～11月に散水システムによる散水を行うことで生産を安定化させ、全量スライスして県外商社に販売しています。

西臼杵支庁としても、生産者への技術的な指導や研修などを通して、産地の維持に地域で一体となって取り組んでいきます。



受賞した成松 達也さんと妻の幸代さん



Facebook

Instagram



西臼杵支庁 SNS

更新中！



西臼杵地区山火事防止パレード

が行われました！



1月27日（月）、西臼杵地区山火事防止パレードが行われました。このパレードは、空気が乾燥し火事が起こりやすいこの時期に毎年行われているものです。

パレードに先立ち、西臼杵支庁で開催された出発式では、参加者を代表して、五ヶ瀬町役場の原 翔大さんが「『ふるさとの 山を守ろう 火の手から』を合い言葉に、地域の方々へ山火事防止について、しっかりと啓発してきます」と宣誓しました。

パレードでは、西臼杵消防本部を先頭に、西臼杵3町、西臼杵森林組合、宮崎北部森林管理署、支庁職員の総勢20名が3町に分かれ、枯れ草などのある場所でたき火をしないこと、火元から離れるときは完全に消火することなどを呼びかけました。

西臼杵管内では、令和6年1月から12月までの間に、山火事が2件、原野火災等が4件発生し、その主な原因はゴミ焼きや野焼きからの延焼となっています。日頃から、防火意識をもって生活していきましょう。



気をつけよう！

- 燃えやすいものの近くや乾燥しているとき、強風のときには、たき火やあぜ焼きをしない
- たき火の場所を離れるときは完全に消火する
- 火入れを行う場合には町の許可を受ける
- 延焼の恐れがあるところでは、たばこを吸わない



発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

